



針尾っ子だより

一人一人が輝く学校をめざして

佐世保市立針尾小学校

No.3 R 6 . 4 . 2 2

文責 校長 前川 直樹

【笑顔いっぱい歓迎集会・遠足】

4月19日（金）、歓迎集会・遠足が行われました。

集会では1年生が名前や好きなものを発表し、自己紹介をすることができました。ちょっぴり照れ屋さんもありましたが、みんなとても輝いていました。2～6年生のお兄さんやお姉さんからは、大きな拍手がわき、温かい雰囲気になりました。そして、仲間集めゲームや〇×クイズをして楽しく活動しました。クイズの中には「針尾小は150歳である。〇か？×か？」「校長先生は55歳である。〇か？×か？」などもあり、大変盛り上がりました。答えはお子様に聞かれてみてください。

計画してくれた運営・集会委員会の皆さん、ありがとう！

その後、およそ1時間かけて針尾無線塔（約3.5km）まで歩きました。現地では、担当の横田先生の話聞いて、約束をきちんと守って遊ぶことができました。また、以下のめあても達成することができ、とても立派でした。

① 1年生はもちろん、一人一人みんなが楽しい一日にしよう。

② 1年生とお友達と先生たちと一緒に、思い出を作ろう。

③ 一步一步、自分の足で前に進もう（前進あるのみ）。

☆ 当たり前前（の）ことが当たり前前（に）できる学校にしよう。

・地域の方へのあいさつ・ごみの持ち帰り・友達に声をかける
お弁当の準備など、ご協力いただきありがとうございました。



【恒久の平和を願って…】

終戦後79年。釜墓地の英霊が無言の帰国をされてから75年の歳月が経ちました。そこで、昨日（21日）、第43回佐世保釜墓地戦没者追悼式が、江上町にある釜霊園で行われました。多くの方が参列され、針尾小学校からも全校児童を代表して、運営・集会委員会の6年生 久家徹哉さん 中町楓希さん 廣瀬健吾さんの3人が参列してくれました。例年、東明中学校、江上小学校、針尾小学校の代表の子どもたちが参列しています。3人とも、戦没者の皆様方に「水」と「おにぎり」を捧げるという責任を立派に果たすことができました。

【献上（おにぎり・霊水）】

「私たちは、地元の中学生・小学生を代表して、本日の追悼式に参列しました。

戦没者皆様方の当時を知ることはできませんが、きれいな水を飲むこと、白いお米を食べることもなく、亡くなったとお聞きしましたので、水とおにぎりを捧げます。」

心よりご冥福をお祈りし、哀悼の意を捧げます。

徹哉さん、楓希さん、健吾さんありがとう！引率をしてくださった保護者様、本当にありがとうございました。

戦争は二度とあってはいけないことです。恒久の平和な世界をつくっていかねばなりません。そこで、私たちに今、できること。それは、針尾っ子と教職員が力を合わせて、けんかやいじめのない学校・学級をつくっていくことです。一人一人がさらに輝くよう邁進してまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

